

2025 年 11 月 13 日

トランスコスモス株式会社
株式会社 Arent

トランスコスモスと Arent、建設現場のデータを自動で統合・蓄積・活用する
サービスプラットフォーム「Connectix Build」を共同で開発
～現場密着型サービスプラットフォーム 現場の“いつも通り”が、企業の“資産”に変わる～

トランスコスモス株式会社(本社:東京都豊島区、代表取締役共同社長:牟田正明、神谷健志、以下、「トランスコスモス」と)と株式会社 Arent(本社:東京都港区、代表取締役社長:鴨林広軌、以下、「Arent」)は、建設現場で日々生まれる膨大なデータを自動で統合・蓄積し、企業の競争力を高める資産へと変換するサービスプラットフォーム、「Connectix Build」を共同で開発します。



Connectix Build

現場の “いつも通り” が 企業の “資産” に変わる

建設業界では BIM/CIM など高度なデジタルツールの導入が進み、AI ソリューションの活用も進んでいますが、想定した効果を得られていないという課題をよく耳にします。トランスコスモスと Arent はこれまでのサービス提供の経験から、その要因の多くはデジタル・ディスコネクト、すなわちデータの分断にあるのではないかと考えています。

日々の現場業務からは、図面、工程、書類、写真、チャット履歴といった膨大なデジタル情報やテキスト、画像などが生成されていますが、これらのデータは個別のツールやシステム内に孤立し、断片的で拡散した不整形なデータの集合体となっており、これがデジタル・ディスコネクトを招いています。業務全体を通じてデータが有効に使われていない現状から、データを「つなぐ」というコンセプトをテーマに、ツール、データ、作業、関係者を有機的に連携させることができるサービスプラットフォームが「Connectix Build」です。

今回提供する「Connectix Build」は、トランスコスモスがこれまで 40 年以上建設業界に特化し提供してきたサービス基盤構築やデータ活用ノウハウなどの知見と、Arent が持つ AI を含む高度なテクノロジーで建設業界の構造的課題を解決するプロダクト開発を融合したサービスです。この「業界知見」と「技術」のハイブリッドなアプローチにより、ツール導入にとどまらず、現場の業務プロセスに密着した各種データの利活用を加速させる DX を推進します。これにより、建設業界の生産性向上、および深刻化する技術継承の課題を解決し、持続可能な成長基盤の構築を目指します。

「Connectix Build」 3 つのコアバリュー

1: プロセスをつなぐ(機能連携)

Arent の AI クラウド工程管理システム「PROCOLLA」、BIM 業務支援ソフト「Lightning BIM シリーズ」を始めとする各種製品や各社の既利用中ツールとも API でシームレスに接続し、システム間の手動でのデータ転記やインポート・エクスポート作

業をなくし、一貫性のあるデータフローを実現します。

これまで行ってきた既存の IT 投資の価値を最大限に引き出す戦略的アプローチを提供します。

また、収集したデータは各社専用のプラットフォームを整備し、分断された業務プロセスを一つのワークフローとして再定義し、プロセス変革を実現します。

2: データをつなぐ(蓄積→活用)

ツールとデータを連携し、これまで分断されていた業務プロセスを一連のワークフローとして再構築。

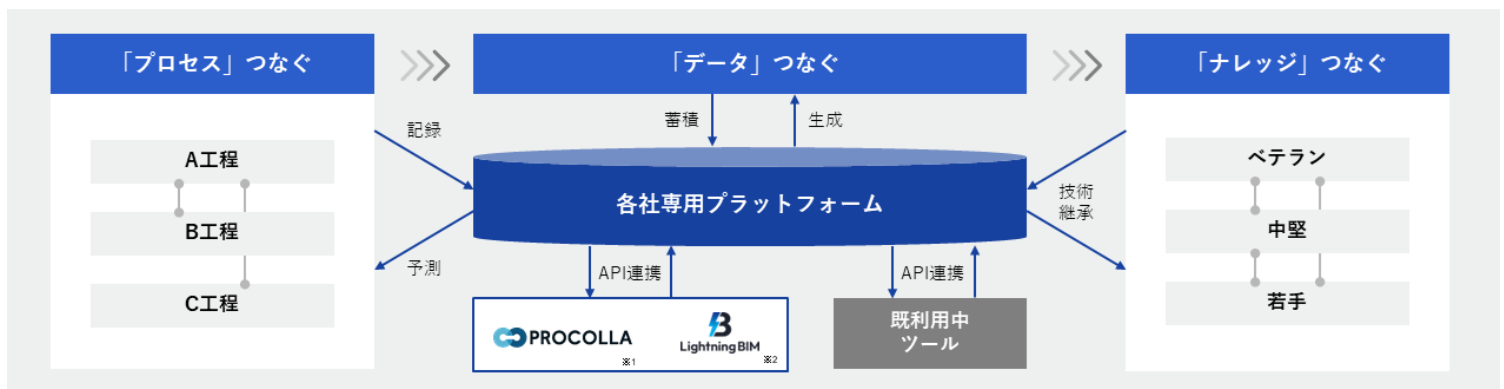
定型的な報告書作成の自動化、設計変更情報の即時共有、検査記録と写真データの自動紐付けなど、プロセス全体の効率化を通じて、現場の生産性を飛躍的に向上させます。定型的な反復業務は AI が自動処理し、人間の専門的な判断が必要な業務やデータのチェック作業は専門のチームが担当します。このハイブリッドなアプローチにより、現場担当者を煩雑な業務から解放し、生産性と創造性を最大化させます。

3: 生きたナレッジベース: 属人化したノウハウを組織の資産へ

日々の業務データを活用し、ベテラン技術者の思考プロセスや判断基準を可視化。

過去事例を参照しながら学べる仕組みを整えることで、技術継承が可能になります。さらにデータに基づく標準化とベストプラクティスの確立により、組織全体で品質を安定させ、継続的な改善文化を醸成します。これにより、これまで暗黙知として属人化していたノウハウが組織全体の「生きたナレッジ」となり、技術継承を促進し、組織全体の技術力を体系的に底上げします。

加えて蓄積されたデータを活用することで、AI が将来的なリスクを先読みし、次にとるべきアクションを提案するなど、インテリジェントなサポートも可能になります。



※1 「PROCILLA」: Arent が開発した建設業界向けの AI クラウド工程管理システムです。図面や過去データをもとに AI が工程表を自動生成し、自然言語での編集やリアルタイム共同作業を可能にすることで、現場の業務効率化と属人性の排除を実現します。

※2 「Lightning BIM シリーズ」: Arent が開発した建設業界向けの BIM 業務支援ソフトウェア群です。主に「Autodesk Revit」上で動作するアドインとして、BIM 関連業務をより直感的かつ効率的に行える環境を提供します。

シリーズ名には、“光のように速く、軽やかに”業務を進められる未来への願いが込められており、Revit のポテンシャルを最大限に引き出すことで、より多くのユーザーが BIM を活用できる社会の実現を目指しています。

トランスコスモスと Arent は「Connectix Build」を通じて、日本の建設業界がより生産的で予測可能な収益性の高い未来を築くことを目的に、お客様企業とともに過去の叡智を未来へつなぐ真のパートナーを目指します。

また、トランスコスモスは施工領域へのサービス提供だけでなく、今後、企画領域、設計領域、調達領域、維持管理領域のそれぞれに向けた DX 関連サービスを提供し、建設業界のさらなる発展に寄与します。

「Connectix Build」については、以下のセミナーにて詳細を説明します。

JAPAN BUILD TOKYOー建築・土木・不動産の先端技術展ー

出展製品・事例紹介セミナー【南展示棟 1 階】

日程: 2025 年 12 月 10 日水曜日

講演時間: 12 時 00 分～12 時 45 分

講演タイトル: データで「つなぐ」建設の未来を創造する Arent とトランスコスモスが考える建設 DX の新たな一手

申込リンク: https://biz.q-pass.jp/f/11137/jb_seminar_tokyo_25/seminar_register

トランスコスモス株式会社について

トランスコスモスは 1966 年の創業以来、優れた「人」と最新の「技術力」を融合し、より価値の高いサービスを提供することで、お客様企業の競争力強化に努めて参りました。現在では、お客様企業のビジネスプロセスをコスト最適化と売上拡大の両面から支援するサービスを、アジアを中心に世界 36 の国と地域・184 の拠点で、オペレーショナル・エクセレンスを追求し、提供しています。また、世界規模での EC 市場の拡大にあわせ、お客様企業の優良な商品・サービスを世界 46 の国と地域の消費者にお届けするグローバル EC ワンストップサービスを提供しています。トランスコスモスは事業環境の変化に対応し、デジタル技術の活用でお客様企業の変革を支援する「Global Digital Transformation Partner」を目指しています。(URL: <https://www.trans-cosmos.co.jp>)

株式会社 Arent について

「暗黙知を民主化する」をミッションに、建設業界の DX を推進する企業です。クライアント企業と共に課題解決に取り組む「DX 事業」と、自社 SaaS を展開する「プロダクト事業」の二軸で事業を展開しています。BIM を誰でも直感的に扱えるように設計された Revit 向けプラグイン群「Lightning BIM」シリーズをはじめ、近年は M&A を通じて「PlantStream®」「BUILD.一貫シリーズ」「現場ナビ工程」「申請くん f シリーズ」などの製品をグループに加え、建設業界が抱える構造的な課題をテクノロジーの力で解決しています。(URL:

<https://arent.co.jp/>)

＜報道機関からのお問い合わせ先＞

トランスコスモス株式会社 広報宣伝部 富澤

Tel: 03-6709-2251

Email: pressroom@transcosmos.com

株式会社 Arent ブランディング部 平原

Tel: 03-6228-3393

Email: info@arent3d.com